

# ひょうご企業探訪 ⑤

2022 学生が聞く

# 地域に根差し、食を提供

兵庫、大阪で持ち帰り弁当店をフランチャイズを含め計12店舗展開する。手づくりで豊富なメニューをそろえ、持続可能な開発目標(SDGs)の取り組みにも力を入れる。兵庫県立大の上瀬昭司教授のゼミ生が、重森貴弘社長を訪ねた。

「だし巻きは焼いてすぐ急速冷却器に入れ、うまみを閉じ込めます。保存期間を延ばせ、素早く提供できています。唐揚げは、好きな人が多く、味にもこだわっています。『つか使う『だから弁当』は売り上げ上位の人気商品です』」

「新型コロナウイルス禍の影響は。店が持ち帰りや配達を始め

変えられず、持ち帰りの業

何でも好きなものが頼める時代。原材料や容器代が上

態は厳しいですね」

ました。競合が増え、弁当の配達件数は減りました。

「新メニューの開発や新

たな売り方、人員配置の最適化などできることを摸索しています。ビジネスホテ

ルや障害者の就労支援施設に冷凍の弁当を提供する分野を伸ばしたい。高校の学食などに冷凍弁当の自販機設置も考えています。お昼

だけでなく、スイーツも販

売します。残飯が減り必要な人に届けられる。いろいろな飲食店に広がればうれしいで

## ミレニアムダイニング(西宮市) 重森貴弘社長(53)



ミレニアムダイニングの重森貴弘社長(左)を訪ねた兵庫県立大3年の玉井伸司さん=西宮市上甲子園1



**ミレニアムダイニング  
グが手がける唐揚げ**  
(同社提供)

売しようと商品開発や新たな販売方法を検討中です」  
ー社会課題の解決にも取り組む。

**メモ**  
2000年、神戸市東灘区で創業。売上高は非公表。従業員60人(アルバイト、パート含む)。23年春の新卒採用予定は大卒2人。西宮市上甲子園1の2の3。☎0798・436963

